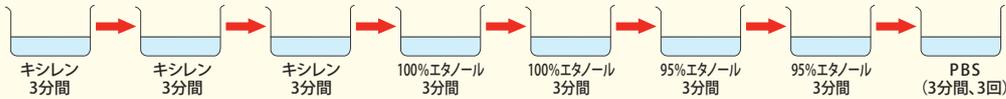


# 操作手順

- \*各ステップでの反応温度、反応時間は厳密に守ること。
- \*特に温度指定のない場合は、常温(15~25℃)で操作すること。
- \*染色結果に影響を及ぼす為、必ず下記の操作手順に従って操作を行うこと。

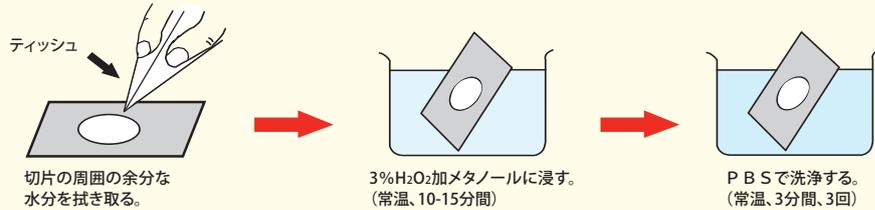
## ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO、シンプルステインマウス MAX-PO、シンプルステインラットMAX-PO

### ●脱パラフィン(パラフィン包埋切片)

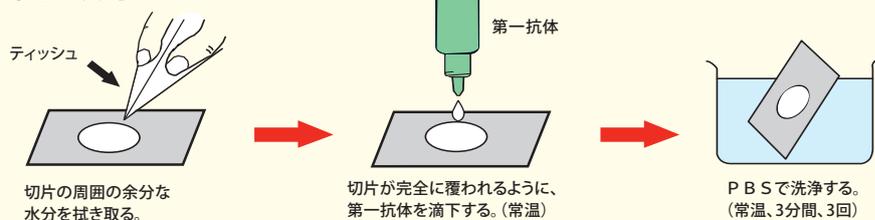


\*各ステップごとによく液を切る。  
\*脱パラフィンを完全にするために、各溶液はスライド40枚ごとに取り換えることが好ましい。

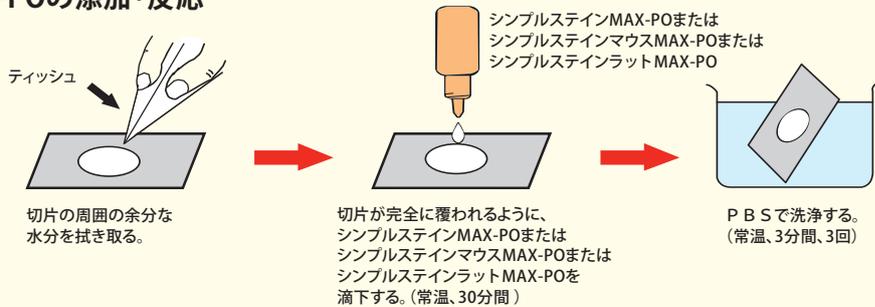
### ●ブロッキング試薬 I による処理(3%過酸化水素加メタノールによる内因性ペルオキシダーゼ除去)



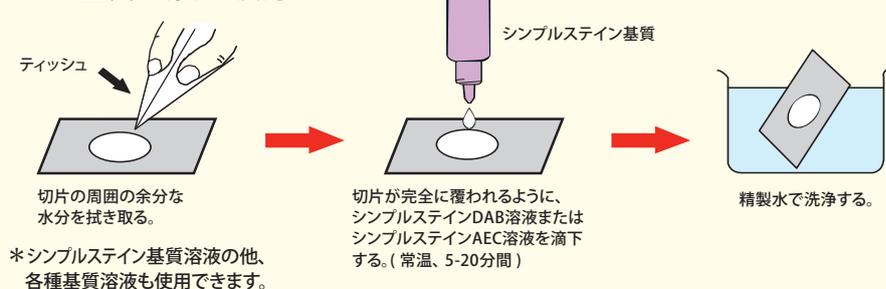
### ●第一抗体の添加・反応



### ●シンプルステインMAX-PO、シンプルステインマウスMAX-POまたはシンプルステインラットMAX-POの添加・反応



### ●シンプルステイン基質の添加・反応



### ●対比染色

### ●封入

基質溶液がAEC発色の場合はそのまま水溶性封入剤で、DAB発色の場合は水洗、脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤で封入する。

- \*抗原賦活化処理および各反応条件等については、電子化された添付文書または使用説明書に従う。
- \*操作中の反応は、湿潤箱の中で行う。